



新型コロナウイルス感染対策で体調管理の継続をお願いします。マスクをつけること、手洗い・うがい、毎日の検温など、長く続けてきたことが油断して疎かにならないようにしていきたいです。

岩手県緊急事態宣言のなか 洋野町でも感染対策の確認と徹底が 進められているなか できること、工夫しなければならないこと

岩手県の緊急事態宣言が出され、さらには洋野町を含め久慈保健所管内での感染者が確認され、今後の拡大も心配されて「遠くで起きていること」などと言ってもらえない状況になっています。8月26日に県の宣言の内容がさらに改訂され、その後、洋野町教育委員会からは「【重要】洋野町教育委員会からのお願い」が保護者あてに出されました。

学校にも活動の見直しが求められていて、町教育委員会とも相談し、今後の原則は、

原則は、「接触を減らす努力をする」ということ

- ・行事は、原則、校内の子ども達や職員のみで行うようにする（保護者等の出入りは見合わせていただく）
- ・校内での感染予防の徹底

としています。このような原則に沿い、授業参観や夏休み作品展展示会も中止にしたところですが、また、感染予防対策としては、これまでのものを基本にして継続したり強化・再確認したりしていきます。まや行事や教育活動は、「やらなければならない活動は注意を払って行う」、「工夫できるものは工夫して形を変えて行う」、「今でなくてもなんとかなるものはやむを得ず先に延ばす」、…、というように、県の宣言や町の取り組みに沿って進めていきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

感染予防対策

給食

- ・向かい合った席にしない。
- ・無言給食。（食べるときはお話をしない、食べるとき以外はマスクをする）

手洗い・うがい

- ・混み合わないよう譲り合うこと。
- ・うがいは飛沫が飛びにくいように静かに行うこと。などを指導しています。

学年を越えて交わる機会をできるだけ減らす

- ・全校朝会を放送で行っています。
 - ・バス集会（スクールバスの乗り方について振り返る会）はリーダーだけの集まりにしました。
 - ・縦割り掃除を当面やめて学級での掃除に切り替えました。
 - ・全校一斉の「縦割り全校遊び」も当面やめます。
- ※ただし、4～6年の陸上記録会に向けての練習は、必要な活動と考えて行っています。

「第2保健室」の設置

昨年度と同様に、体育館玄関わきの部屋を第2保健室とします。発熱症状などの場合は、他の子どもとの接触をさけるために使います（迎いは、こちらに来ていただくこととなります）。

※発熱などの症状が出た場合は、コロナ感染とは限らないまでも念のためすぐに教室等の消毒をすることがあります。「決して発熱症状が出た子どもを差別することではなく、安全・衛生上の措置である」ということを子ども達にも指導します。

行事などは

子ども達の活動を保障し目的を達成させるためにできるだけ実施したいと考えています。そのため、判断をギリギリまで待ちたいものもあれば、待つにも期限があるものもあります。ご心配やご迷惑をおかけしています。学校も毎日変わる状況を見ながら検討を続けておりますので、何卒ご理解をお願いいたします。

見学学習・遠足

- 9月10日予定の「遠足」は当面延期することになります。
 - ・感染拡大地域を避け、行き先を検討して来ましたが町内の様子も考えたうえで延期することにいたしました。
- 社会科・生活科見学学習はその都度判断することになります。
 - ・学習のため必要なものですので、内容を絞って、感染状況と時期を見計らって判断することになります。

修学旅行

- 延期します。延期時期は、宿泊施設の空き状況や学校行事等の調整を行ってお知らせします。併せて、保護者説明会も延期します。詳しくは、学年からお知らせします。
 - ・県外・県内ともに感染状況が厳しい状況にありますし、今後の状況も見通せないことからの延期を判断いたしました。

小学校陸上記録会

洋野町小中学校体育連盟で実施の可否が検討されています。

児童の参加については保護者の同意を得て進めることになっていきますし、その同意を得る期間も必要なことから、感染拡大状況を見ながら、**来週火曜日頃には最終判断がされる見通し**です。

ずっと続いている新型コロナ対応ですが、ワクチン接種が進む一方で、感染状況は決して昨年度の今頃よりもよいとは言えない状況にあります。子ども達にも我慢を強いており申し訳なく感じているところです。そんななかでも、これまで取ってきた対策の知恵を駆使し、子ども達の教育活動を進めていきます。まだまだ、予定の急な変更などで、ご心配やご不便をおかけすると思いますが、ご理解をお願いいたします。

「返事」がよくなって よい動きに、聞き方に、 そして「あいさつ」へ

「返事がよくなってきたなあ。」と感じています。

陸上記録会の練習で、リーダーの

- ・「これから〇〇の練習を始めます。」に対して「はい！」
- ・「次は〇〇をします。」にも「はい！」
- ・「もっと〇〇してください。」にも「はい！」

と、大きな返事が聞こえます。それに伴って、動きもキビキビしているように見えます。

5年生の宿泊研修での返事も以前に比べてとてもよくなってきました。実行委員の「〇〇してください。」に「はい！」のはっきりした返事が聞かれました。「活動で疲れているだろうに」とも思うのですがはっきりした返事で、しかも話を聞く聞き方も格段によくなったと感じます。

こうして、「返事をする」という基本的なことができることで、キビキビした動きや「聞き方」にも影響があるのだなど、その大事さを感じています。そして、さらに「あいさつ」もよくなってきたようにも思います。

2学期は、「あいさつ」と「そうじ」と「ボランティア」の3つをがんばろうと話して始まった学期でもあります。この後も続けてがんばらせていきます。